

研究機関名：東北大学

受付番号： 2015-1-510
研究課題名 遺伝子解析による急性膵炎発症・重症化に関する患者側背景因子の検討
研究期間 西暦 2015年 11月（倫理委員会承認後）～ 2020年 3月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（血液より抽出した遺伝子 _____） 上記材料の採取期間 西暦 1997年 1月～ 2015年 3月
意義、目的 本研究は急性膵炎の発症・重症化にかかわる遺伝子異常について、網羅的に解析・調査をおこない遺伝子異常を解明することが目的である。すでに当科で遺伝子を抽出し、膵炎の感受性に関する2次利用に対する包括的同意がある検体も解析対象とすることで、より精度の高い調査が可能となる。
方法 過去に文書にて膵炎感受性遺伝子に関する2次利用に対して、包括的同意の上、血液より採取し保存されている遺伝子を使用する。候補遺伝子の異常を同定し、健常群と比較することで、膵炎との関連性について検討する。
問い合わせ等の窓口 東北大学病院消化器内科 膵臓グループ 正宗 淳 980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 電話 022-717-7172